



平成28年8月10日

海上保安庁

JICA 研修員が東日本大震災の被災地を訪問 ～災害時の水路測量を学ぶ～

海図作成のための測量技術等の習得を目的として来日している東南アジア各国からの JICA 研修員が、8月18日から19日にかけて東日本大震災の被災地を訪問します。

被災港湾の復興状況や最先端の自然災害研究について学んだ知識は、母国での災害対策に役立てられます。

海図作成のための測量技術等の習得を目的として来日中の東南アジア各国の関係機関の測量技術者（4カ国7名）が、研修の一環として、8月18日から19日にかけて東日本大震災の被災地を訪問し、石巻港、女川港の被災及び復興の状況や、東北大学災害科学国際研究所における最先端の自然災害研究について学びます。

津波や高潮などの災害の発災時は、港湾に多数の漂流物や海底障害物が発生するため、海域を調査する水路測量を通じて緊急物資の輸送経路を確保し船舶を安全に入港させることが、応急復旧活動として極めて重要となります。被災地の訪問で得た知識を通じて、研修員は災害対策の分野でも母国で活躍されることが期待されます。

○見学スケジュール（石巻港及び女川港見学ルートの詳細は別紙）

日 時	見 学 先
8月18日（木）12:10～13:40	石巻港見学
” 14:10～15:10	女川港見学
8月19日（金）10:00～12:00	東北大学災害科学国際研究所訪問

○今年度の研修員（4カ国7名）

カンボジア1名、インドネシア3名、ミャンマー2名、フィリピン1名

※研修全体の概要については、6月20日広報資料（別添）を参照。

○昨年の見学の様子



(別紙)

石巻港及び女川港見学では、地元ボランティアガイドから海外研修員に対して震災当時の被災状況や復興の様子について説明が行われます。取材を希望される社は、**8月17日(水) 15時まで**に、下記取材申し込み先まで、電話又はFAX(下記申し込み用紙)により、申し込み下さい。

○ 8月18日(木) 石巻港、女川港における見学ルート(予定)

・ 石巻港(主にバス車内からの見学、一部下車しての見学を予定)

12:10 石巻駅南口出発→大街道地区、工業港地区、石巻魚市場→雲雀野地区ガレキ積載場所→門脇小学校跡地(下車、取材可能)→13:40 石巻駅南口着、見学終了

・ 女川港(主にバス車内からの見学、一部下車しての見学を予定)

14:10 きぼうのかね商店街出発→女川町地域医療センター付近高台(下車、取材可能)→女川町内→15:10 きぼうのかね商店街着、見学終了

[取材申し込み用紙]

申し込み先

海上保安庁海洋情報部技術・国際課 担当:芳之内(よしのうち)・山本

FAX 03-3595-3626

電話 03-3595-3605

件名 : JICA集団研修の取材申し込み

会社名

氏名

電話番号

FAX番号
